

病院名：奈良県西和医療センター

医療圏：西和医療圏

## 地域医療構想の達成に向けた将来の方向性について (地域医療構想調整会議資料)

### ① 地域医療構想を踏まえ、自院が今後地域において担う役割、機能について

現在、西和医療センターは、奈良県西和地域、特に西和地域南部において急性期医療（二次救急）を提供する基幹病院として、地域住民に必要な医療を提供している。西和地域では、高度急性期・急性期の患者のうち脳疾患、心疾患等の循環器疾患の患者のほとんどは受け入れている。さらに、今年度から消化器がん低侵襲治療センター及び人工関節センターの設置・運用、呼吸器内科専門医の確保により、消化器疾患、呼吸器疾患や整形外科疾患の患者の受け入れを積極的に行っている。今後も引き続き、西和地域の二次救急の砦として様々な患者に常時対応していく。

また、西和地域は高齢者人口の増加が見込まれることから、複合的な疾患にも対応できるよう必要性の高まる診療科については維持継続するとともに、併せて糖尿病疾患などの医師確保を進め、地域住民に必要な医療を提供していく。奈良県地域医療構想で想定された医療需要に応えるため、引き続き、身近な地域で二次救急に常時応需できる機能を有するとともに、西和地域の高齢化に応じた必要な医療を提供する。

### ② 貴院が希望される、地域の病院間での役割分担について

今後も循環器疾患をはじめとする超急性期、急性期の救急医療を継続していくが、併せて、地域医療支援病院及び在宅療養後方支援病院として、地域の病院、診療所からの救急の受入など急性期患者に対応していくとともに、行政機関や医師会などと連携して、西和地域の地域包括ケアの推進においてその中心的役割を果たしていく。

### ③ ②を進めるための、地域における連携推進などの取り組み方針について

地域医療支援病院及び在宅療養後方支援病院として、地域の医療機関等との更なる連携、地域包括ケアなどに引き続き取り組んでいく。

このため、以下の事業を今後も継続して実施していく。

- ・ 地域の病院、診療所への副院長の訪問、情報の発信
- ・ 県西部地域医療連携の集いの開催
- ・ 県西部地域病院間医療連携の集いの開催
- ・ 地域医療機関従事者も対象とした大和川メディカルアカデミーの開催
- ・ 地域医療連携講座（毎月）、医療従事者公開講座の開催
- ・ 西和メディケアフォーラム地域事例検討会の開催
- ・ 在宅療養支援室の設置による地域包括支援センターとの連携の強化
- ・ 在宅療養後方支援病院として、登録患者の100%受入
- ・ 看護師等による退院前・後患者訪問の実施
- ・ 西和7町が実施する胃がん検診2次読影への実施協力 等

※行が足りない場合は適時、行を増やしてください。複数枚になっても結構です。

病院名： 生駒市立病院

医療圏： 西和保健医療圏

## 地域医療構想の達成に向けた将来の方向性について (地域医療構想調整会議資料)

### ① 地域医療構想を踏まえ、自院が今後地域において担う役割、機能について

◎急性期病院として地域医療に貢献すること。

- ・自圏域外（特に、大阪府）へ流出傾向にある患者の市内回帰の促進
  - がん患者への医療提供体制として、自圏域の地域がん診療連携拠点病院と連携した集学的治療体制
- ・救急患者を「断らない病院」
  - 24時間365日、医師・看護師・放射線技師・検査技師・薬剤師を配置し、CT・MRI・X線・血液等の諸検査、心臓カテーテル検査・治療、内視鏡検査・手術が可能な救急受入体制
- ・急変時の対応が可能な「面倒見のよい病院」
  - 連携施設の患者や連携登録医が担当する在宅患者の急変時の受入の24時間対応可能な体制

② 貴院が希望される、地域の病院間での役割分担について

(地域において貴院が担わない又は縮小する役割・機能ができるときり明らかになるようご説明ください)

◎主要疾病における市立病院の役割

- がん ・地域がん診療連携拠点病院と連携のもと、精密検査や確定診断等の実施
- 脳卒中・急性心筋梗塞
  - ・自圏域の高次病院との連携のもと、緊急の心臓カテーテル検査等、早期の検査・診断・治療体制の確保
- 救急医療
  - ・24時間365日の救急搬送受入体制による断らない医療体制の実施
  - ・自圏域、近隣の高次病院との連携体制の構築
- 周産期医療
  - ・一次診療所のバックアップ（ハイリスク分娩は地域周産期母子医療センターとの連携体制で対応）
- 小児救急医療
  - ・県小児二次輪番体制への参加

◎地域包括ケアシステムの構築に向けての市立病院の役割

- 医療と介護との円滑な連携体制の構築による在宅医療の支援
  - ・退院支援チーム、入退院調整マニュアルの推進による円滑な入退院の推進
- 在宅医療に取り組むかかりつけ医等のバックアップによる在宅医療の支援
  - ・在宅患者の急変時の受入の24時間対応可能な体制の確保

③ ②を進めるための、地域における連携推進などの取り組み方針について

- ◎がん治療や脳卒中・急性心筋梗塞・周産期等の救急医療における高次医療機関との連携推進の取組
- ◎市内輪番体制及び北和小児科二次輪番体制への参加に向けた体制整備及び救急実績の向上
- ◎紹介・逆紹介の推進、医療機器のオープン利用の促進等在宅医療の支援の取組

※行が足りない場合は適時、行を増やしてください。複数枚になっても結構です。

病院名： 国立病院機構 やまと精神医療センター 医療圏： 西和

## 地域医療構想の達成に向けた将来の方向性について (地域医療構想調整会議資料)

### 1. 地域医療構想を踏まえ、自院が今後地域において担う役割、機能について

#### 1) 当院の特徴

重症心身障害児（者）医療施設および精神科を専門とした医療機関である。

#### 2) 当院の担う医療

##### ①重症心身障害児（者）

- ・強度行動障害や重症のてんかん発作を合併する「動く重症心身障害児（者）」の入院、養育を行う。
- ・重症心身障害児（者）の短期入所。
- ・ " " 通所事業を実施。

##### ②精神科

- ・精神科救急：輪番制に参加し、緊急措置入院を含む三次救急に対応  
応急入院、医療保護入院の受入も行う。
- ・結核等合併：結核を合併した精神疾患患者の受入を行う。
- ・老年期の精神障害  
：認知症の中核症状に加え精神症状や行動異常が著しい患者の  
入院医療を行う。
- ・医療観察法：入院ならびに通院の医療機関指定を受け、対象者の受入を行う。
- ・訪問看護：事業所としてステーションの認可を受け、精神科訪問看護を実施

#### 3) 当院の課題

- ①重心病棟に空床が生じた際は、待機患者の解消を図るため行政及び後見人等との円滑な調整が必要である。連絡を密に行い、待機患者への医療・生活支援の提供に努めていきたい。

②精神疾患にかかる地域移行・地域定着支援を行うに、阻害要因や対応方法の照会・勉強会の要望が多くある。また、近隣医療機関から精神科診療支援の依頼も多い。精神科専門病院として情報提供を行っていきたい。

#### 4) 当院の担うべき役割

①動く重症心身障害児（者）においては、二次医療圏内にとどまらず県内全域および県外から受け入れている。行政及び後見人等保護者と連絡を密に行い、待機患者の解消の一助としたい。また、短期入所・通所事業により、在宅医療推進に寄与したい。

②精神科においては二次医療圏内にとどまらず、県内から広く患者を受け入れている。結核等合併は他県にも及ぶ。  
今後も引き続き、精神科救急における急性期医療、精神科結核合併、在宅が困難な老年期精神障害等に対する取組を行う。  
また、精神科訪問看護を更に充実させ、精神科における在宅医療推進に寄与したい。

#### 5) 今後持つべき病床機能

重症心身障害児（者）医療施設ならびに精神科専門病院として、現在の病床機能を維持する。

## 2. 貴院が希望される、地域の病院間での役割分担について

(地域において貴院が担わない又は縮小する役割・機能が、できるかぎり明らかになるようご説明ください)

重症心身障害児（者）医療施設および精神科専門病院として、現在、担っている役割・機能について、病床機能ならびに診療科の変更等の予定は特にない。

## 3. ②を進めるための、地域における連携推進などの取り組み方針について

当院の担う役割・機能を更に充実させ、地域における重症心身障害児（者）および精神科患者に医療等の提供を行いたい。

※行が足りない場合は適時、行を増やしてください。複数枚になっても結構です。